

埼玉の“いま”を知り、 未来を考える



開催日時

全6回

第1回 7月23日 教育学部教授 金子 康子
よみがえる“宝蔵寺沼ムジナモ自生地”
－ミクロの目で見えたムジナモの生育－

第2回 8月27日 教育学部准教授 石上 城行
さいたまトリエンナーレ 2016
－市民参加による国際芸術祭の可能性－

第3回 9月24日 教育学部准教授 宗澤 忠雄
共に生きる街を創る
－さいたま市ノーマライゼーション条例づくりから－

第4回 10月22日 名誉教授 山下 勇一
インターネット上のデータから見た埼玉
－データベースとソフトウェアの活用を通して－

第5回 11月19日 大学院人文社会科学 研究科准教授 宮崎 雅人
社会資本の老朽化と維持管理

第6回 12月17日 大学院人文社会科学 研究科教授 中川 聡史
人口からみた埼玉の過去・現在・未来

受講料無料／事前申込不要

毎回土曜日／14:00～15:40(開場13:00)
会場／全学講義棟 1号館 1-301 講義室
定員／350人 (定員を超えた場合は別室にて
モニター受講となります)

対象／どなたでも受講できます。
高校生、大学生の皆さんも是非ご参加下さい。

※5回以上受講された方には「修了証」を差し上げます。

後援 埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市
さいたま市教育委員会
彩の国さいたま魅力づくり推進協議会

協賛 埼玉りそな銀行／武蔵野銀行／埼玉縣信用金庫
コープみらい／埼玉大通り商店会／埼玉県商工会議所連合会

お問い合わせ先／埼玉大学広報渉外室

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255

TEL.048-858-3927・048-829-7672

E-mail:koho@gr.saitama-u.ac.jp <http://www.saitama-u.ac.jp>

－埼玉の“いま”を知り、未来を考える－

埼玉大学と読売新聞さいたま支局の共催による連続市民講座は、今回で7回目を迎えます。幸いにも、市民のみなさんから大きな期待が寄せられる講座になりました。

もともとこの講座は、埼玉大学における研究成果の一端を市民のみなさんに紹介しながら、豊かな地域づくりのお役に立ちたいという目的で始めました。今回のテーマは「埼玉の“いま”を知り、未来を考える」。様々な角度から埼玉の姿を映し出し、私たちが住まう地域の将来について、一緒に考える内容にしたいと思っています。

多くのみなさんのご来場をお待ちしております。

埼玉大学連続市民講座 part 7 概要

第1回
7/23
14:00～15:40



金子 康子
教育学部教授

よみがえる“宝蔵寺沼ムジナモ自生地”

—ミクロの目で見たムジナモの生育—

ムジナモは希少な水生の食虫植物です。水面下に浮遊して水中の小動物を捕食します。埼玉県羽生市宝蔵寺沼はムジナモの国内最後の自生地として1966年国の天然記念物に指定されましたが、年間を通した生育が困難な状況が続きました。2009年から行われた緊急調査を経てムジナモが繁茂する環境が復元しつつあります。宝蔵寺沼ムジナモ自生地の現状を、電子顕微鏡などで見たムジナモの興味深い生き方と共に紹介します。

第2回
8/27
14:00～15:40



石上 城行
教育学部准教授

さいたまトリエンナーレ 2016

—市民参加による国際芸術祭の可能性—

3年に一度、開催される国際芸術祭(トリエンナーレ)が、さいたま市で行われます。この催しは国内外のアーティストがさいたま市を訪れて多様なアート作品を展開するとともに、多くの市民サポーターが参加してつくり上げていく、全く新しいタイプの芸術祭です。

今回はディレクターの芹沢高志さんとサポーターコーディネーターの藤原旅人さんをお招きし、芸術祭を通じて見えてくる埼玉の“いま”と未来についてお話を伺いたいと思います。

ゲスト



さいたま
トリエンナーレ
ディレクター
芹沢 高志氏



さいたま
トリエンナーレ
サポーター
コーディネーター
藤原 旅人氏

第3回
9/24
14:00～15:40



宗澤 忠雄
教育学部准教授

共に生きる街を創る

—さいたま市ノーマライゼーション条例づくりから—

さいたま市は「誰もが共に生きるための障害者の権利の擁護等に関する条例」(通称ノーマライゼーション条例)を2011年に成立・施行しています。この条例は、北欧のノーマライゼーション思想と21世紀の人権概念を進めたとされる障害者の権利条約を受けて、粘り強い市民参加の下で作られました。政令市で唯一の条例づくりを制定に導いたプロセスの実際と、高齢化の進展する地域にとってこの条例の持つ意義についてお話しします。

「読売新聞埼玉版で伝えます！」

読売新聞は、埼玉大学連続市民講座 part 7全6回の内容を毎回、事前に紙面で紹介し、終了後には講座の様子も伝えていきます。記者が講師にインタビューした講座のポイントや概要を、「読売新聞埼玉版」でじっくり読むことができます。

どの講座に行くか迷っている方の「道しるべ」になることでしょう。また、受講した内容を紙面で改めて読む「追体験」を、味わっていただけます。



第4回
10/22
14:00～15:40



山下 勇一
名誉教授

インターネット上のデータから見た埼玉

—データベースとソフトウェアの活用を通して—

インターネット上には様々なデータやソフトウェアが提供されています。誰でも利用できるデータベースを使って、埼玉の現状を把握する方法を紹介するとともに、その分析結果から埼玉の現状と未来を考えます。また、インターネット上で利用できる日常生活で役立つサイトまたはソフトウェアの活用方法を紹介し、これらのサイトやソフトウェアが今後の生活にどのような影響を与えるかを考えます。

第5回
11/19
14:00～15:40



宮崎 雅人
大学院人文社会科学
研究科准教授

社会資本の老朽化と維持管理

高度経済成長期を中心に整備された社会資本の老朽化が進んでいます。国は地方自治体に対して、「公共施設等総合管理計画」の策定を要請し、埼玉県はすでにその策定を終えています。県は「県有施設の中長期修繕計画」を策定し、施設ごとの中長期修繕計画の推計を行っています。講演ではこうしたデータを見ていく中から、埼玉県における社会資本の維持管理とともに、日本全体の問題について検討を行いたいと思います。

第6回
12/17
14:00～15:40



中川 聡史
大学院人文社会科学
研究科教授

人口からみた埼玉の過去・現在・未来

埼玉県は多様な地域から成り立ち、第2次世界大戦後だけみても、それぞれの地域が大きく変貌しました。過去から現在、そして未来の埼玉県を統計や地図、それに写真や動画などの映像資料を用いて概観し、これまでの埼玉県の変化を確認するとともに、これからの埼玉県がどのように変わっていくのかを考えてみたいと思います。



■アクセス

- JR京浜東北線北浦和駅西口より
埼玉大学行きバス約15分(約3.5km)
- JR埼京線南与野駅より
埼玉大学行き・志木駅東口行き
バス約10分(約2.2km)

※講演録の作成中止について

これまで各回の講演録を作成し配付を行っていましたが、都合により今回から中止させていただくことといたしました。ご了承くださいませようお願い申し上げます。